

<報道発表資料>

令和8年1月30日

京都市左京区役所 総務・防災・地域連携促進担当

## 「松ヶ崎学区・地区防災計画」の報告会及び 地区防災計画に係る講演会の開催

左京区役所では、今年度新たな取組として地域の防災力の更なる向上のため、自主防災会をはじめとした地域の皆様が地域特性を踏まえた実践的な防災計画を自主的に策定する支援を行っております。

本事業では、モデル学区として松ヶ崎学区を選定し、避難ルートの再検討等を地域の皆様で意見交換したワークショップをこれまで5回開催しております。

この度、そのワークショップの成果となる「松ヶ崎学区・地区防災計画」の報告及び京都大学防災研究所矢守克也教授の講演会を開催いたします。

### 【概要】

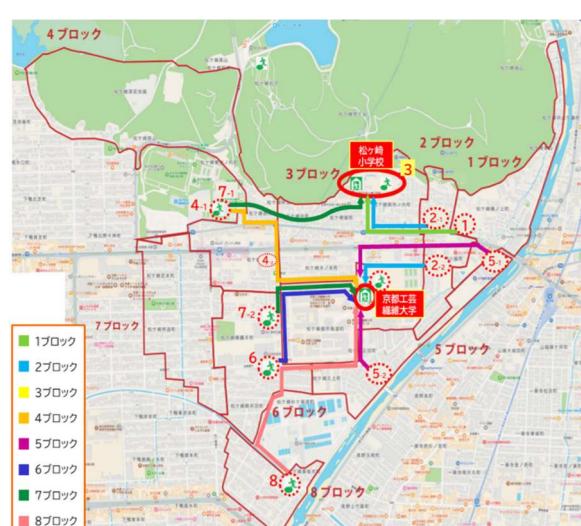
- 日時 令和8年2月12日(木) 午後6時30分～8時 (受付：午後6時)
- 場 所 左京区役所 2階 区民交流会議室  
(区民交流会議室が満員に達した場合、3階講堂でZOOM視聴となります。)  
(〒606-8511 京都市左京区松ヶ崎堂ノ上町7番地の2)
- 次 第 1. 松ヶ崎学区・地区防災計画の報告  
2. 京都大学防災研究所教授 矢守克也氏の講演  
「地区防災計画を“動く計画”にする  
～松ヶ崎校区の避難ルール・情報共有の実装～」
- 対象者 各学区自主防災会、左京区在住・在勤の方 (事前申込不要)

### 【松ヶ崎学区の特徴】

松ヶ崎学区では、山間部に近いブロックや住宅が密集する市街地、河川に隣接しているブロックなど同一学区内であっても、災害特性が大きく異なります。

そのため、土砂災害の恐れや地震時に建物被害や火災のリスクが高いブロック、避難経路の確保に課題を抱えるブロック、高齢者が多いブロックなど異なる課題を抱えています。

地区防災計画では、こうしたブロックごとの課題に対して避難ルートの再検討や地域の事業者と連携する「松ヶ崎防災ふれんどしつぶ協定」の締結を行うなど、地区居住者が主体となり、地域の実情に即した内容で計画を作成しました。



【松ヶ崎学区ブロック図】

### 【参考】

阪神・淡路大震災や東日本大震災などの大規模災害の経験から、公助の限界が指摘される一方、地域における自助・共助の取組の重要性がより一層明らかとなりました。

こうした背景を踏まえて、平成25年の災害対策基本法の改正により、自助・共助に関する規定が整備され、地区防災計画制度が創設されました。

地区防災計画とは、地域コミュニティにおける共助による防災活動推進の観点から、一定の地区的居住者及び事業者（地区居住者等）が行う自発的な防災活動に関する計画です。

地区防災計画の特徴としては、住民参加型のボトムアップ型計画であることから、地区居住者等が作成する「地区の特性に応じた計画」になります。

### 【お問合せ先】

左京区役所地域力推進室総務・防災・地域連携促進担当

電話：075-702-1021